

あそぼ

第10号

2009年3月20日

大分教区少年連盟発行

「子どもの集い」に参加して

大海組 妙蓮寺 蓮谷 啓介

二〇〇八年六月十四日(土)、本願寺別府別院にて二年に一度の「子どもの集い」が開かれました。昨年自坊の子ども会が復活し、初めて参加させて頂くことができました。



まだまだお寺に慣れていない子ども達は朝から緊張気味でしたが、別府駅までの電車で車窓やおしゃべりに夢中でほっとしました。

会場には大分県内から百人のお友達が集まっていてみんなびっくり。でも、広い本堂で全体ゲームが始まると、いつもの笑顔で元気に遊ぶことができました。

お昼からのプロジェクト・アドベンチャーという数種類のゲームは、みんなで協力しながら、結果が良くても悪くてもその「記録」を喜びあえることを目的とした内容のゲームでした。



例えば紙コップ五十ヶを積み重ねていくゲームでは、高さを他のチームと競い合うのではなく、チーム内で最も高くするにはピラミッド型がいいのか、塔のように直線的に積み上げるほうがいいのか...と時間内に何度も挑戦しては、一番良い記録にみんな満足な様子でした。

もちろん失敗もたくさんあり、相手を責めてケンカもしました。でも、そこには自然と話し合いが生まれ、最後にはみんなで作った記録をみんなで認め合うことができました。子ども達には「できた」ことも「できなかった」こともみんなで笑いあえる楽しさが残ったようです。

「少年教化寺族女性研修会」に参加して

中津組 光楽寺(龍大4)

攝受 利華

昨年の7月3日から4日に、本願寺間法会館にて開催された「少年教化寺族女性研修会」に参加させて頂きました。全国から30名が参加し、基調講演や模擬日校、事例紹介、各寺院のかかえる悩み相談などを通して「キッズサンガ」や「お寺のあり方」を共に学びました。

初めは不安でしたが、皆、パワフルで積極的な方ばかりで、学びの中にも常に楽しさのある研修でした。

帰りの電車で五年生がポツリとひと言。「二年に一度やけんもう行けんの...?」

参加して本当に良かったと思います。中学生になってもお寺で会えたらいいな...。切符を数えながら、始まったばかりの子ども会に楽しい将来を描きました。

中でも最も印象深かったのは、班で実際に資料を見せ合いながらの事例紹介や、各寺のかかえる悩みの解決方法を皆で話し合ったことです。そこで班のメンバーとの会話を通して今まで知らなかった様々な日校のあり方があると気づきました。100あれば100通りの日校の規模や内容、地域との繋がり方、そして悩みがあると改めて実感し、考えさせられるものがありました。そしてその情報を共有する中に、お互いに新しい考え方や見習いたいことなどの提供も出来、大変有意義な時間であったと感じられました。

この研修での出会いを大切に、私の大好きな日曜学校の輪を広げ、未来に楽しく盛り上げていきたいと思いました。

日曜学校へ行こう！⑦ 速見組 寶蓮

今回は別府市上人仲町の速見組寶蓮寺日曜学校(國東隆基住職)をご紹介します。(編)まず子ども会の日程を教えてください。

(住)毎月第3か第4日曜日の夕方18時〜19時に行っています。

(編)朝ではなく夕方というのはめずらしいですね。

(住)はい、その方が習い事の多い子ども達でも参加できます。(編)いつも何人ほど参加されますか。

(住)だいたい10〜15人ほどが参加してくれます。



(編)内容を教えて下さい。

(住)「らいはいのうた」をお勤めし、三つの誓いを唱和します。それから仏典童話などを

読み聞かせ、ゲームをします。(編)ゲームの工夫は何かされていますか。

(住)継続性と低学年でも参加しやすいことからジャンケンゲームが定番です。

(編)飽きが来ないですか。

(住)勝つほどにお菓子がたくさんもらえるので毎回盛りります。一度やめたら(お菓子)参加率が落ちました(笑)

(編)とても参考になります(笑)毎月の子ども会以外には何かされていますか。

(住)ご正忌のお参りと夏休みの一泊子ども会があります。

(編)これだけの行事では会費が高くなりませんか？

(住)確かに予算建ては厳しいですが、会費は年間300円です。お菓子は月参りなどのご門徒さんに頂いたものを使うなどの工夫をしています。

珍しいものが多く喜びます。

(編)いろいろな工夫をされておられますね。会費の負担が



みんな阿弥陀さまの大切な大切な仏の子

少ないと皆が参加しやすく、子ども会を行っていくうえでとても大切なことですね。

(住)無理せず、継続していくことが何より大切なことと考えています。

(編)とても参考になりました。子ども会の継続が心配だという声を多く聞きます。無理せず子どもの立場で工夫することの大切さを教えて頂きました。取材のご協力、本当にありがとうございました。

少年教化推進者研修を終えて

東国東組 教順寺 加藤 悠

子どもの頃、親戚のお寺の日曜学校(子ども会)に参加し、楽しかった記憶は今でも覚えています。今回研修を受けて、年齢で大切な時期は

“つ”が付く頃が大事という話が印象的でした。子ども会に参加していくことで幼い頃から阿弥陀様に関わる環境の御縁ができる。そして子ども

の声が聞こえる生き生きとした寺院になることがキッズ

運動だと改めて教わった良い研修だったと感じました。

今回の研修で実際に子ども会活動を定期的に行っている方が多く、関心することもありました。継続して行う難

しさもあるという声もありました。期間中、様々なゲームを体験し、豊富なアイデアを子ども会に参加する子ども達

だけでなく、世話をするスタッフや保護者も一緒に楽しめる活動になることが理想だという意見になるほどだなと思いました。

これからも研修をきっかけに少年連盟のお手伝いができるればと感じました。



最上段右から5番目が加藤君

編集後記

いつでも、どこでも、誰にでも「一人じゃないよ」と入満ちてくださる阿弥陀さま。その願い、おはたらきに、厳しい世の中を生きている子ども達が出遇うことができたら...

ご開山親鸞さまの大遠見が、近づいています。